**遺　言　書**

　遺言者甲野太郎は、次のとおり、遺言をする。

１　遺言者の相続人は、妻・甲野花子（昭和○年○月○日生、以下「花子」という。）、長女・甲野松子（昭和○年○月○日生、以下「松子」という。）および長男・甲野一郎（昭和○年○月○日生、以下「一郎」という。）の３名である。

２　遺言者は、次の土地、建物および預貯金を妻・花子に相続させる。

　⑴　土地

　　　所在　　　○○区○○町○丁目

　　　地番　　　○番○

　　　地目　　　宅地

　　　地積　　　○○平方メートル

　⑵　建物

　　　所在　　　○○区○○町○丁目○番地

　　　家屋番号　○番○

　　　種類　　　居宅

　　　構造　　　○○

　　　床面積　　○○平方メートル

　⑶　預貯金

　　　○○銀行○○支店　普通預金

　　　口座番号　○○○○○○

　　　口座名義　遺言者

３　遺言者は、次の預貯金を長女・松子に相続させる。

　　　○○銀行○○支店　普通預金

　　　口座番号　○○○○○○

　　　口座名義　遺言者

４　遺言者は、次の預貯金を長男・一郎に相続させる。

　　　○○銀行○○支店　普通預金

　　　口座番号　○○○○○○

　　　口座名義　遺言者

５　遺言者は、前項までに記載した以外の相続財産が判明したときは、妻・花子に相続させる。

６　遺言者は、長女・松子および長男・一郎に対して行った次の援助を特別受益として考慮して、本遺言の相続内容を定めたものである。

　⑴　長女・松子

　　　平成○年○月に結婚の資金として２００万円

　⑵　長男・一郎

　　①　平成○年から○年にかけて大学の学費および在学中の一人暮らしの生活費として８００万円

　　②　平成○年○月に事業資金として３００万円

令和○年○月○日

　　　　　　東京都○○区○○町○丁目○番○号

　　　　　　遺言者　　甲　野　太　郎　　　　　㊞